

## ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。  
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、  
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

### お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

### お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

**0120-20-8822** ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

## 工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

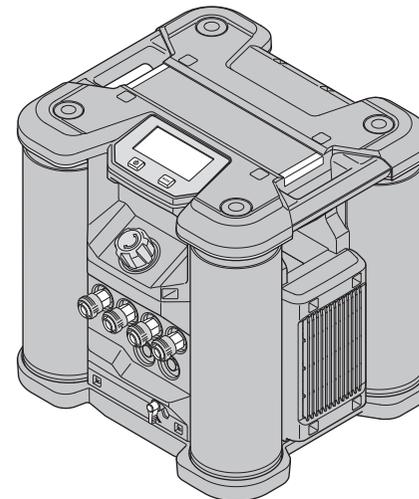
部品コード C99278001 307 N

# HIKOKI

## 取扱説明書

### 高圧エアコンプレッサ EC 4516HY (S)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

### はじめに

高圧エアコンプレッサの安全上のご注意…	1
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	6
Bluetooth 無線技術について ……	7
インバータ制御について ……	7
スマートフォンでの操作について…	8
各部の名称とはたらき ……	9
用途 ……	11
仕様 ……	11

### 使い方

ご使用前の準備・点検 ……	12
蓄電池の取付け・取りはずし ……	15
電池残量表示について ……	16
蓄電池を充電する ……	17
運転モードについて ……	19
ブーストモードについて ……	20
運転する ……	21
警報機能について ……	23
ブースト・充電回路の異常について…	24
停電自動復帰機能について ……	24
ご使用後について ……	25

### その他

運搬について ……	26
保守・点検 ……	27
エアコンプレッサとの接続について…	29
ご修理のときは ……	裏表紙

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 高圧エアコンプレッサの安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### ⚠警告

- ① 本機は釘打機などの空気工具用の空気圧縮機です。連続運転となる用途には使用しないでください。
- ② 本機で、圧縮・圧送できる気体は、空気（大気圧状態）のみです。空気以外の気体は使用しないでください。  
さび付き、異常摩耗、火災や爆発の原因になります。
- ③ 改造は絶対にしないでください。

### ⚠警告

#### 運転の準備

- ① 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。  
散らかった暗い場所や作業台は、事故を招く恐れがあります。
- ② 安全保護具を使用してください。  
作業時は、保護メガネ・防じんマスク・防音保護具・安全靴・ヘルメットなどを使用してください。
- ③ 爆発を誘引することがある可燃性の液体やガス、または粉じんがある所で使用しないでください。  
発火や火災の原因になります。
- ④ 雨や湿気がある状態にさらさないでください。  
機体に水が入ると、さびや故障、感電の原因になります。
- ⑤ 濡れた手で機体や電源プラグに触れないでください。  
感電や事故の原因になります。
- ⑥ アース線をガス管に取付けないでください。  
爆発の恐れがあります。
- ⑦ 子供を近づけないでください。
  - 作業者以外、機体に触れさせないでください。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
  - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑧ 床面がかたい、水平な面に置いて使用してください。  
移動や落下の恐れがある不安定な場所では使用しないでください。
- ⑨ 機体を倒したり、横倒しの状態で使用・保管をしないでください。
- ⑩ 開口部に指および釘、ドライバー、テープなどの異物を入れないでください。
- ⑪ 高温や直射日光の当たる場所、狭い箱などに入れて使用しないでください。  
また、吸気・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
- ⑫ ごみ、ほこりの多い場所や、鉄粉、砂じん、粉じん、木くずなどの異物がかかる場所では使用しないでください。  
加熱火災事故や異常摩耗の原因になります。
- ⑬ カブラにエアセット、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。
- ⑭ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - 本機を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況などに十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。

## ⚠注意

- ① アンモニア・酸・塩分・オゾンガス・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。  
機体のさび付きや寿命低下の原因になります。
- ② コードを乱暴に扱わないでください。
  - 機体を移動させたり、引いたり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。
  - コードは、熱、油、角のとがった所、または動く物からはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電の原因になります。
- ③ コードや延長コードは事前に点検し、損傷している場合には修理・交換してください。

## ⚠警告

### 運転をするとき

- ① 本機は高圧出力専用機です。エアホースは、高圧専用ホースを使用してください。
- ② エアホースはエアプラグ、ホース金具で確実に固定されている物を使用してください。
- ③ Bluetooth による遠隔操作を行うときは、距離約 10 m 以内で、機体が視界に入る状態で使用してください。なお、以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。
  - Bluetooth 接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
  - 無線 LAN が構築されている場所
  - 電子レンジを使用中の周辺
  - その他電磁波が発生している場所
- ④ 空気工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には減圧弁を設定しないでください。
- ⑤ 顔を近づけてエアホースを抜かないでください。
- ⑥ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体や接続機器などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

## ⚠警告

- ⑦ 機体に変形や破損がある場合はそのまま使用せずにお買い求めの販売店に連絡し、修理してください。
- ⑧ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑨ 本機に物を載せる、座る、または踏み台にしないでください。  
破損や転倒する恐れがあります。
- ⑩ 運転中、運転直後は高温になるため、空気タンク、カバー取付けねじなどの金属部に直接素手で触れないでください。  
正面左側の空気タンクは、空気の圧縮熱により高温となります。
- ⑪ 専用の充電器や蓄電池を使用してください。  
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。  
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ⑫ 蓄電池接続用端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
  - 蓄電池取付部の下に、粉じんやほこり、あるいは水などの液体がある場合は、きれいにふき取ってください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑬ 蓄電池接続用端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

## ⚠注意

- ① 停電および雷の場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
破損や事故の原因になります。
- ② 操作パネルに強い衝撃を与えないでください。
- ③ 火気に近づけないでください。  
変形の原因になります。
- ④ 蓄電池は確実に取付けてください。

## ⚠ 警告

### 運転を中断・終了・運搬するとき

- ① スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いてから、運転を中断・終了・運搬してください。  
電源プラグを抜いて運転を停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。
- ② 運搬などの際は、強い衝撃や振動を与えないでください。

## ⚠ 警告

### 保守・点検のとき

- ① 空気タンク内の圧縮空気を完全に抜いてから行ってください。
- ② 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用してください。
- ③ 空気タンクに空気漏れがある場合は使用しないでください。
- ④ 故障のときは、使用せずにお買い求めの販売店へ連絡し修理を依頼してください。
- ⑤ 製品の分解・改造および部品の改造はしないでください。

#### ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

## ⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ず本機（コンプレッサ）の電源スイッチをOFFにしてから、電源プラグを抜いてください。  
電源プラグをコンセントにさしたまま、準備や点検、工具の接続などをすると、予期しない作動を招いて事故やけがの原因になります。

## リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はブースト運転時にリチウムイオン電池（マルチボルトタイプ蓄電池）を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、ブースト運転が停止し通常運転または運転を停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとブースト運転を停止します。  
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとブースト運転が停止する場合があります。  
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

#### ○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

## Bluetooth® 無線技術について

Bluetooth® のマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC. の登録商標で、ライセンスに基づき使用しています。

本製品に搭載されている Bluetooth 機器は 2.4 GHz 帯の周波数を使用しています。このため、以下の注意事項をよく読んで、正しく使用してください。

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局設備として、技術基準適合証明を受けていますので、使用にあたり無線局の免許は必要ありません。
- 本機は技術基準適合証明を受けていますので、分解や改造をしないでください。また、本機に貼ってある認証ラベル (㊿ マーク記載) をはがさないでください。法律で罰せられる場合があります。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線 LAN、他の Bluetooth 機器などは同じ周波数帯を使用しています。これらの機器と相互に電波干渉しないよう、はなして使用してください。  
電波が届かない場合があります。
- Bluetooth による通信によって発生した損害については、本製品の不具合を除き、弊社では一切の責任を負いません。
- ペースメーカー、その他医療機器をご使用される方は、当該の医療用電気機器メーカーまたは医療機関や販売業者に、電波による影響について確認してください。
- 混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合がありますので、使用しないでください。  
本機からの電波が、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

## インバータ制御について

- 本機はインバータ制御により、回転数を変化させています。この回転数の変化により運転音が変化しますが、異常ではありません。
- ラジオなどに対して電波ノイズの影響を与える場合がありますので、状況に応じ本機より 1 m 以上はなして使用してください。

## スマートフォンでの操作について

本機は、専用アプリ『HiKOKI TOOLS』をスマートフォンにインストールすることで、スマートフォンから遠隔操作や各種機能の設定などができます。

スマートフォンでの各種操作、設定変更などの詳細については、専用アプリのメイン画面右上(メニュー)を押し、「対応機種一覧 / 使い方」より本機を選択し、「アプリの使い方はこちら」を参照してください。

スマートフォンから操作できる項目

- 機体電源の ON / OFF
- 運転モード切り替え
- セキュリティアラーム機能の ON / OFF 切り替え
- 自己診断



iOS 用



Android 用

スマートフォンやタブレット端末などのバーコードリーダー機能で読み取るか、App Store または Google Play ストア内の『HiKOKI TOOLS』を検索し、専用アプリをダウンロードしてください。



※ アプリ画面は予告なしに変更する場合があります。

### Bluetooth機能の使用上の注意

Bluetoothの周波数帯は2.4 GHzです。干渉領域は約10 mとなります。この無線通信機能を使用する前に、干渉領域に他の無線局やシステムのほか、産業・科学・医療機器などが使用されていないことを確認してください。この無線通信機能を使用して電波干渉が発生した場合は、場所を移すか、無線通信をオフにしてください。



## 用途

- 一般建築作業における釘打機等エア工具への圧縮空気供給源

## 仕様

形 名		EC 4516HY(S)			
モ ー ド		ブースト	パワー	オート	サイレント
使用電源		単相交流 電圧 100 V 周波数 50/60 Hz 共用			
モ ー タ ー		直流ブラシレスモーター			
電 流		15 A			
入 力		1,500 W			
定 格 出 力		1,250 W			
空気タンク内最高圧力		4.4 MPa			
運 転 モ ー ド		4モード (詳細は、P.19「運転モードについて」参照)			
取り出し可能圧力		0～約 2.5 MPa			
シリンダ径 ×行程 ×シリンダ数	低 圧	62 mm × 26 mm × 1			
	高 圧	40 mm × 11 mm × 1			
回 転 速 度 [ 最 大 ]		3,500 min <sup>-1</sup>	3,100 min <sup>-1</sup>	2,300 min <sup>-1</sup>	1,500 min <sup>-1</sup>
吐 出 し 空 気 量	0.7 MPa	120 L/min	120 L/min	95 L/min	60 L/min
	2.3 MPa	115 L/min	88 L/min	84 L/min	50 L/min
空気タンク容量		16 L			
電 池 電 圧		36 V			
使用可能蓄電池		マルチボルトタイプ蓄電池			
充 電 電 圧		18 V			
充 電 電 流		12 A			
充 電 時 間		BSL 36A18X: 約 25 分 / BSL 36B18X: 約 40 分			
外 形 寸 法 (幅×奥行×高さ)		440 × 395 × 450 mm			
質 量		21.5 kg			
空気取り出し口		高圧カプラ× 4 個			
コ ー ド		アースクリップ付 3 心キャブタイヤケーブル 約 2.5 m [3P(可倒式) 電源プラグ付]			

## ご使用前の準備・点検

### ●機体のすえ付け

### ⚠注意

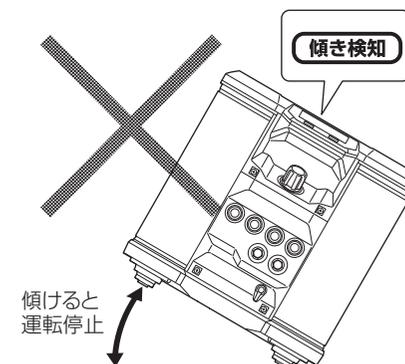
周囲の温度が 5～40℃の範囲で使用してください。  
軸受寿命低下、焼き付き、作動不良、破損の原因になります。

運転するときは、4本の足(ゴム足)が確実に床面に接して、ガタつきがないように設置してください。使用できる外気温度は、5～40℃です。

### ●傾き検知について

機体横向き状態での運転による故障防止のため、運転中に前後・左右に45°以上で約3秒間傾けると、傾き検知表示が点灯し運転が自動停止します。

停止した場合は、平らな場所に置いてください。10秒後に運転を自動で再開します。



## ●使用電源の確認

電源電圧が単相 100 V、30 A 以上の容量としてください。また、エンジン発電機や直流電源、変圧器などでは使用しないでください。(弊社インバータ制御付エンジン発電機で、定格出力 2.0 kW 以上の物は使用可)

## ●コンセントの確認

コンセントがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などに相談してください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

## ●アース(接地)、漏電しゃ断器の設置

ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断器(以下、漏電しゃ断器と言います)が設置されていることを確認してください。

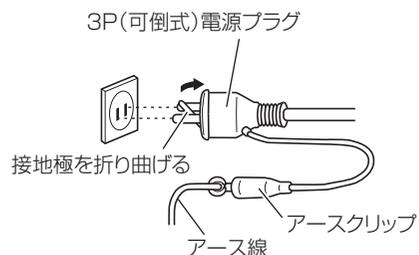
**注** ●プラグのアースクリップや接地極、アース線は、異常のないことを確認してから使用してください。

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、プラグの接地極またはアースクリップと機体の金属外枠との間の導通を確認してください。

●地中に接地極(アース板、アース棒)を埋め、アース線を接続するなどの設置工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店に相談してください。

アースクリップ付 3P(可倒式)電源プラグはアース付(3ピン)コンセントに直接さし込むことで、アースクリップによるアースは不要です。

アース極のない 2 極コンセントに接続するときは、右図のように接地極を折り曲げてコンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続してください。



## ●延長コードを使う場合

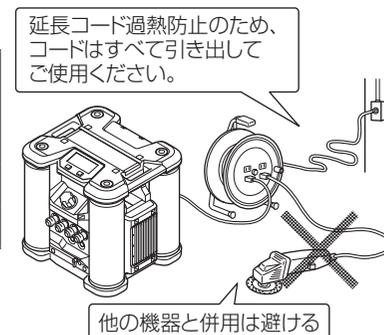
延長コードを使用すると電圧降下によるトラブルの原因になります。なるべく、延長コードの使用を避け、元電源に直接接続してください。

延長コードを使用する場合は、アース線を備えた 3 心キャブタイヤケーブルで太さ 2 mm<sup>2</sup> 以上、長さ 30 m 以内としてください。また、延長コードで他の機器との併用は避けてください。

また、電源からはなれた場所で使用する場合にも延長コードの使用を避け、延長エアホースを使用してください。

### 延長コード使用時の注意 (許容長さ 30 m)

コードの太さ (mm <sup>2</sup> ) (導体公称断面積)	使用時の注意	
1.25	×	使用不可
2.0	○	使用可能
3.5	◎	安心して使用可能



# 蓄電池の取付け・取りはずし

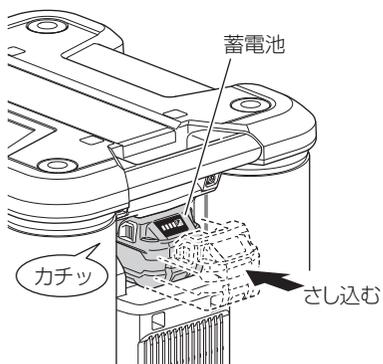
## ⚠ 注意

端子部には触れないでください。  
端子部で手を切るなど、思わぬけがの原因になります。

**注** 蓄電池を挿入するときは、無理な力をかけないでください。  
簡単に入らないときは、正しく挿入されていないか、取付ける向きが正しいか、異物が挟まっていないか確認してください。

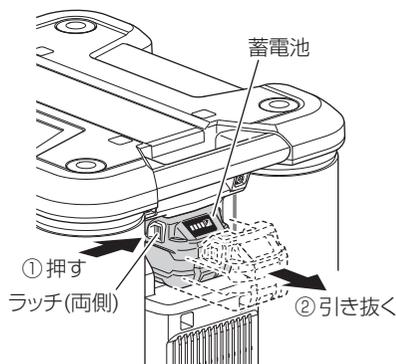
## 取付け

蓄電池を溝に合わせ、「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



## 取りはずし

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



# 電池残量表示について

蓄電池を本体に取付けると、操作パネルの電池残量表示で確認できます。

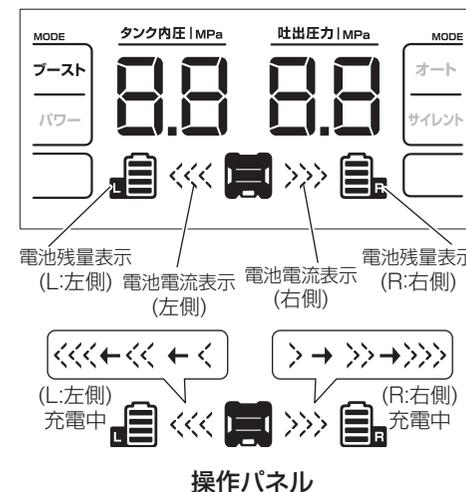
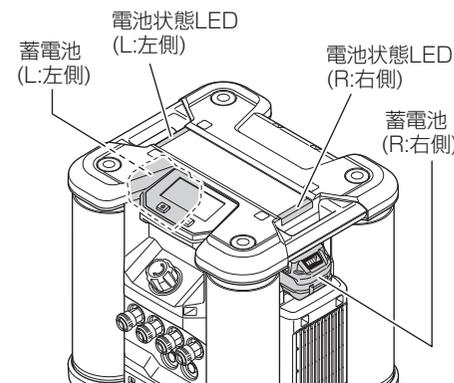
ランプは、電源コードをコンセントに接続した状態で点灯します。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。

**注** • ブーストモードで使用中の蓄電池は電圧降下により電池残量が正しく表示されませんので、本体を停止させてから確認してください。

• エアコンプレッサ側と蓄電池側の残量表示は異なる場合があります。

ランプの点灯状態	電池残量
	75% 以上
	点灯
	25% ~ 50% 未満
	25% 未満



電池残量表示の電池「R」「L」は、本体正面向かって右側が「R」、左側が「L」の蓄電池を示します。





## ⚠注意

電源スイッチを切り、次に運転する場合は、3秒以上の間隔をとってください。短時間でON-OFF操作を繰り返しますと起動不良を起こすことがあります。

### 注 寒冷地の場合

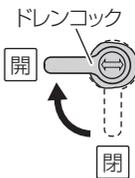
- ドレンの凍結による作動不良および空気量の減少、場合によっては損傷にいたる可能性がありますので、本機を暖めてから運転させるような凍結防止の処理を行ってください。
- 低温での起動不良が発生した場合は、延長コードの使用を避け、ドレンコックを全開にして暖機運転をしばらく行ってから使用してください。

## 1 3P(可倒式)電源プラグをコンセントにさし込む

電源スイッチLED[緑]がゆっくり点滅します。

## 3 ドレンコックを全開にしてから、電源スイッチをONにする

- ドレン排出口から空気が出ることを確認してください。
- 電源スイッチLED[緑]が連続点灯します。



## 2 モードを選択する

運転モード切替ボタンを押して、運転モードを選択します。(P.19「運転モードについて」参照)

## 4 ドレンコックを閉じる

空気タンク内の圧力が上昇します。空気タンク内の圧力が約4.4MPaになると、運転が停止します。サイレントモード時は、ドレンコックを約3.0MPaになると、運転が停止します。



## 5 減圧弁で圧力を調整する

ノブを⊕側に回すと圧力が上がり、⊖側に回すと圧力が下がります。吐出圧力のデジタルパネルに表示されている数値を確認しながら、必要な圧力に調整してください。高い圧力から低い圧力にすると、使用中に調整圧力が下がる場合があります。



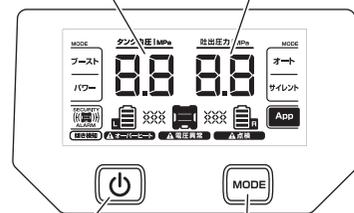
## 6 カプラにエアホースを接続し、作業を開始する

- 高圧専用エアプラグ・ホースを使用してください。
- 減圧弁の調整圧力を下げたとき、エアホースの空気は減圧弁から大気に逃がすようになっています。そのとき、シューという音が出ます。

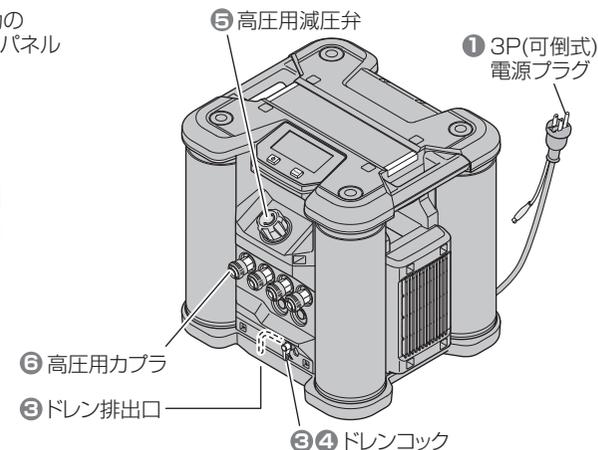
注 取り出し空気中には、吸い込み空気中の水分が結露してドレンとして混入します。エアホースの途中に市販のフィルタなどを通すことをお勧めします。

- 注
- 使用の空気量が多く、空気タンク内圧力が大きく下がるような場合、減圧弁の特性により調整圧力が約0.2MPa程度上昇することがあります。
  - 減圧弁で設定できる最高取り出し圧力は、約2.5MPaです。

4 空気タンク内圧力のデジタルパネル 5 吐出圧力のデジタルパネル



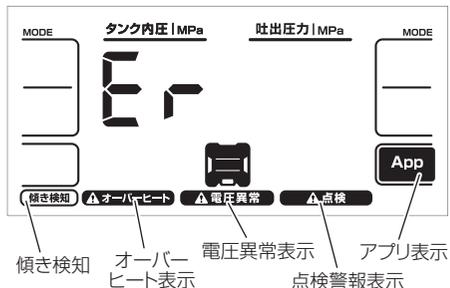
- 3 電源スイッチ  
・通電状態で待機(スイッチOFF)の場合、LED[緑]がゆっくり点滅します。  
・運転(スイッチON)の場合、LED[緑]が点灯します。
- 2 運転モード切替ボタン



## 警報機能について

本機は、電圧やモーターの異常時に自動的に運転を停止する機能と、これらの異常を操作パネルに表示し、お知らせする警報機能を搭載しています。

モーターが運転を停止し、操作パネルに下表のようなエラーが表示されている場合、または点検警報表示やアプリ接続エラーが表示している場合は、下表により対応してください。



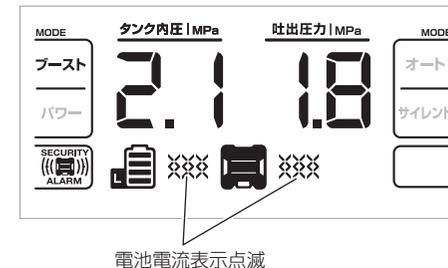
エラー表示と原因	対応
<p>電源電圧が低い場合アイコンが点滅し、性能が低下していることをお知らせ</p>	そのまま使用できます。 電圧が復帰すれば、そのまま消灯します。
<p>電圧が高すぎる、または低すぎるため運転を停止</p>	電源や延長コードの接続を改善 (P.13～14 参照) すると、「電源スイッチ」が緑点滅します。点滅確認後、「電源スイッチ」を押してください。
<p>制御回路、モーターが過熱し、運転を停止</p>	電源や延長コードの接続を改善 (P.13～14 参照) し、また機体を風通しの良い場所に設置してください。十分に冷ますと、「電源スイッチ」が緑点滅します。点滅確認後「電源スイッチ」を押してください。
<p>その他の異常</p>	お買い求めの販売店に連絡してください。
<p>スマートフォンとペアリングができていない (アプリ表示が点滅)</p>	P.8「スマートフォンでの操作について」を参照してください。 専用アプリ『HiKOKI TOOLS』をインストールし、ペアリングを実行してください。
<p>本機の実働時間が1,200時間に達した</p>	P.27「点検 (オーバーホール) 時期お知らせ機能について」を参照してください。
<p>運転中に前後・左右に45°以上で約3秒間傾けると運転が自動停止</p>	P.12「傾き検知について」を参照してください。

**注** 運転再開後、モーターの停止、操作パネルのエラーが表示する場合、モーターの故障が考えられますのでお買い求めの販売店へ連絡してください。

## ブースト・充電回路の異常について

ブースト・充電回路が故障すると、左右の電池電流表示が点滅し、ブースト運転、および蓄電池の充電ができないことをお知らせします。

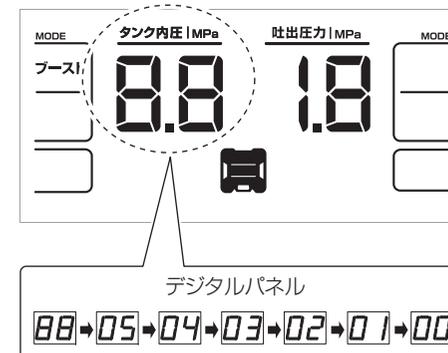
電源コンセントのみの運転は可能ですが、お買い求めの販売店に連絡してください。



## 停電自動復帰機能について

突然の停電や不意に電源プラグが抜けるなどで、機体への通電が遮断された場合、通電が再開されると同時に、本機 (エアコンプレッサ) の電源がONの状態に自動復帰します。

停電自動復帰機能動作の場合は、デジタルパネルが「88」表示後、1秒間隔で「05」→「04」→「03」→「02」→「01」→「00」と表示したのち、運転を再開します。



## ご使用後について

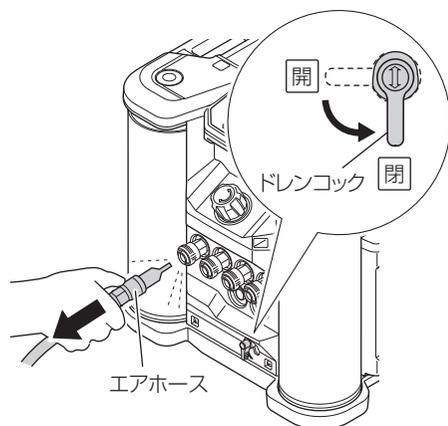
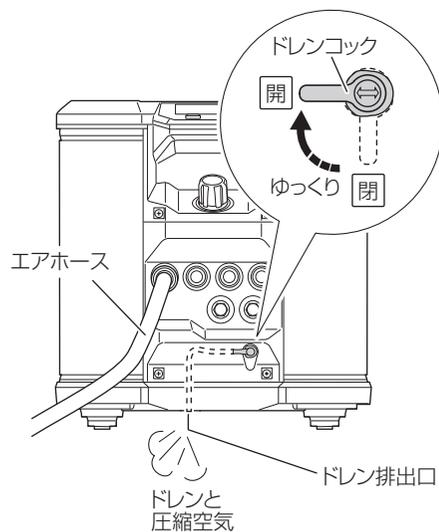
**1** 電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜いてください。  
電源スイッチがONの状態(電源表示LED[緑]:連続点灯)のまま、電源プラグの抜きさしは絶対に行わないでください。

**注** 電源プラグを抜いて運転を停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、不意に運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。

**2** ドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレンと圧縮空気をすべて抜いてタンク内のさび付きを防いでください。

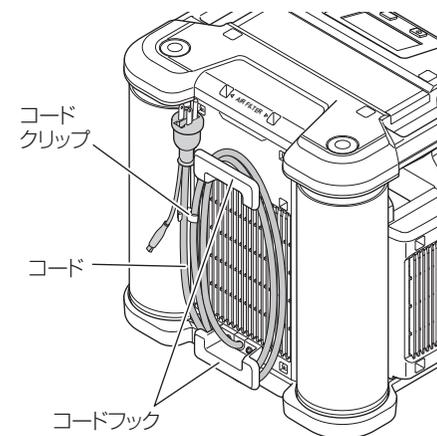
**注** ドレンコックを急に開くと、ドレンや圧縮空気が飛散する場合があります。ドレン排出口付近に飛散する物がないことを確認し、徐々にドレンコックを開き、排出具合を調整してください。

**3** 空気タンク内のドレンがすべて抜けていることを確認してから、エアホースをはずしてください。



## 運搬について

- 運搬はていねいに行ってください。特に衝撃(製品をぶつける、激しく揺さぶる等)には十分注意してください。
- 機体を倒したり、横倒しの状態で運搬しないでください。
- 車での運搬時は、動かないようにしっかり固定してください。
- コードは、コードフックに取付けて運搬してください。

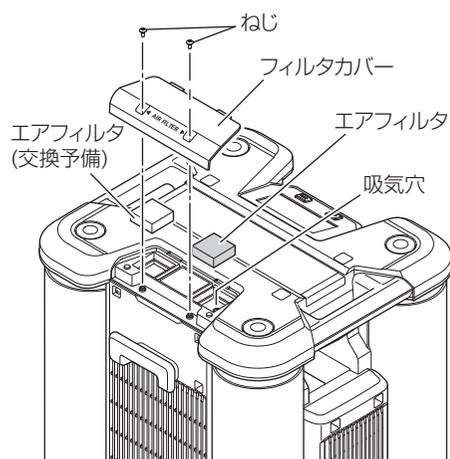


## ●エアフィルタの清掃について

本機には、カバー右後部にエアフィルタを内蔵しています。

長く使用するために、1か月に1回程度、定期的な清掃をしてください。

エアフィルタの清掃の際には、フィルタカバーを留めているねじをゆるめ、フィルタカバーをはずし、エアフィルタを清掃します。



**注** エアフィルタは、交換予備も含め2個入っています。吸気穴のある方を清掃・交換してください。

## ●点検（オーバーホール）時期お知らせ機能について

本機には、実働 1,200 時間を経過しオーバーホール時期が近づいたことを、**点検** の点灯によりお知らせする機能を搭載しています。

通電時にしたとき、**点検** が点灯する場合には、お買い求めの販売店にオーバーホールを依頼してください。

## ●機体や付属品の保管

- 空気タンク内のドレンを完全に抜いてから屋内に保管してください。特に寒冷地では、タンク内に空気を入れたままにしないでください。
- 長期間（約 1 か月）使用しない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の運転を行い、さび付きなどによる不具合を防いでください。
- 水平な床面に、4本の足（ゴム足）が接して、ガタつきがないように保管してください。
- 下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。
  - お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
  - 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
  - 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

## ●故障のときは

### 警告

- 修理はお買い求めの販売店に依頼してください。
- 樹脂カバーを開けたり、分解をしないでください。

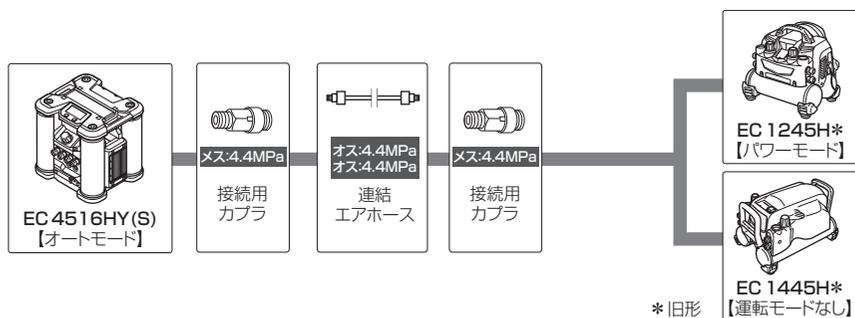
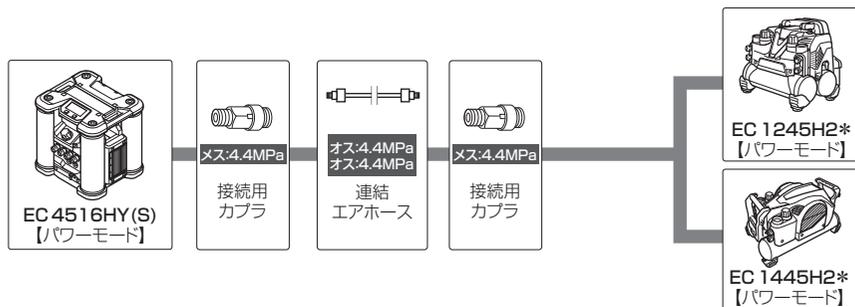
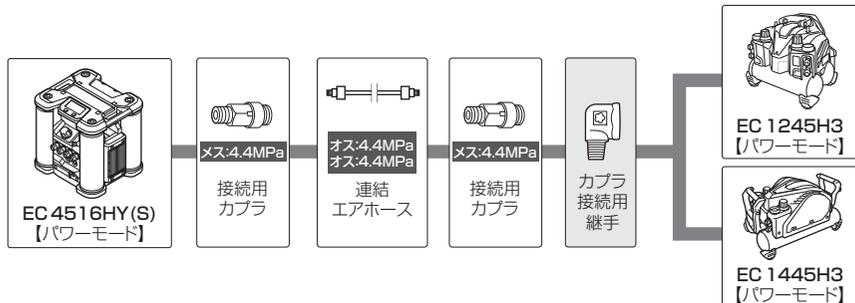
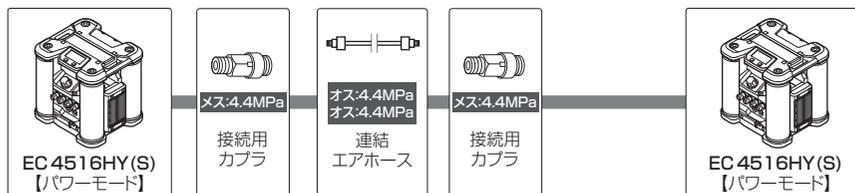
次のような現象が発見された場合は、スイッチを切り、電源プラグを抜き使用をやめて直ちにお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

- 電源スイッチを ON にしても運転しない。または、モーターが起動しない。
- 運転中に異常振動、異常音がする。
- 圧力が上昇しない。
- 圧縮空気を使用していないのに5分以内に再起動する。
- 空気タンクに変形や亀裂が生じた場合。
- デジタルパネルの表示が E r の場合。
- 圧力センサが作動せず、リリースバルブが作動し、圧縮空気が吹き出す。

# エアコンプレッサとの接続について

# メモ

- 注**
- EC 4516HYを2台連結するときは、同じモードに合わせてください。
  - 接続用カブラ、およびカブラ接続用継手の取付けは、お買い求めの販売店に依頼してください。
  - 同一電源で2台接続しないでください。
  - ドレンは、両機体から排出してください。



\*旧形 【運転モードなし】